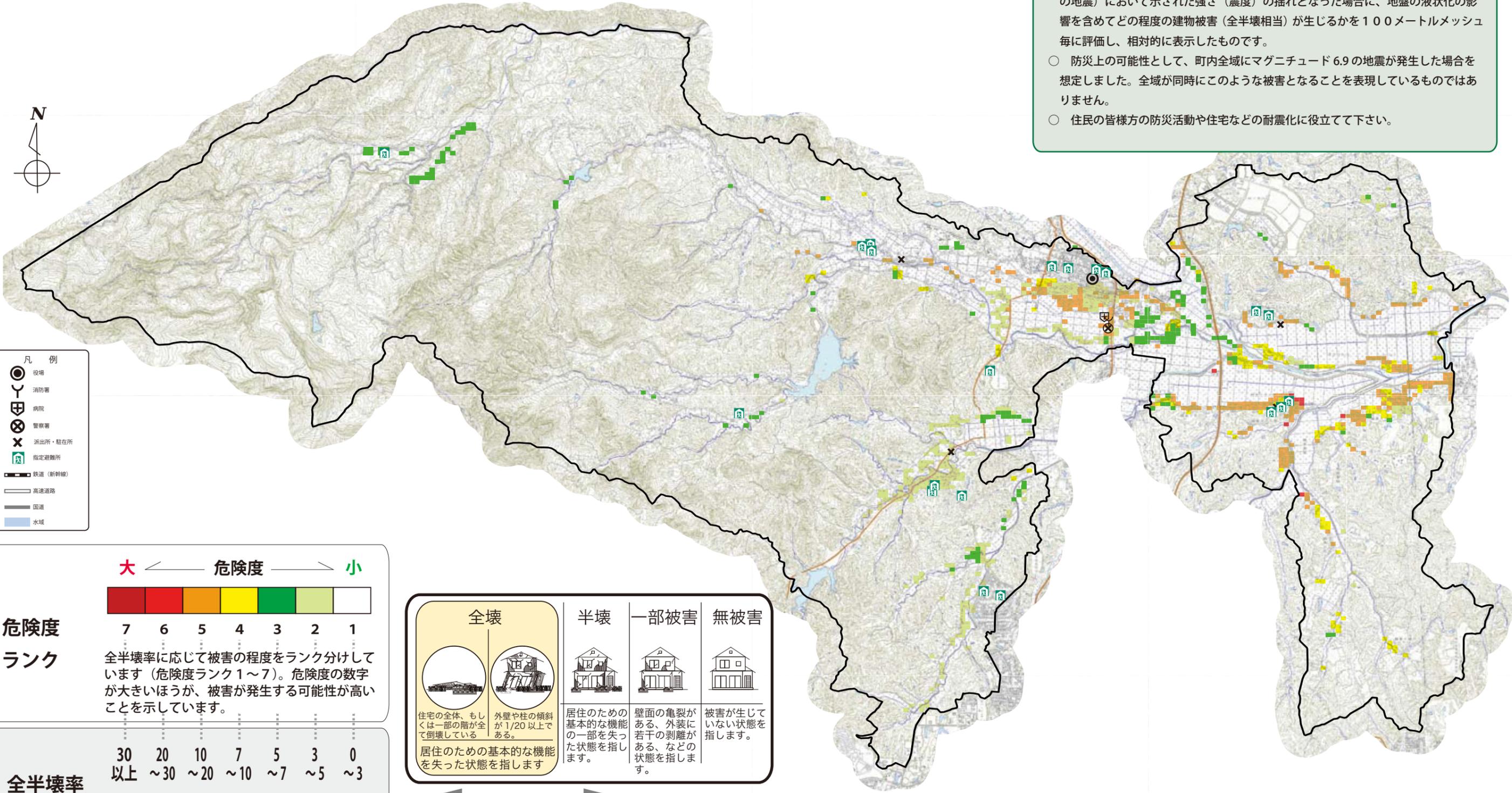


# 大和町地震防災マップ

## 地域の危険度マップ (どこでも起こりうる直下の地震の場合の想定木造建物被害分布図)

- この地域の危険度マップは、地域が揺れやすさマップ（どこでも起こりうる直下の地震）において示された強さ（震度）の揺れとなった場合に、地盤の液状化の影響を含めてどの程度の建物被害（全半壊相当）が生じるかを100メートルメッシュ毎に評価し、相対的に表示したものです。
- 防災上の可能性として、町内全域にマグニチュード6.9の地震が発生した場合を想定しました。全域が同時にこのような被害となることを表現しているものではありません。
- 住民の皆様方の防災活動や住宅などの耐震化に役立ててください。



**危険度**

大 ← 危険度 → 小

7 6 5 4 3 2 1

**危険度**  
**ランク**

全半壊率に応じて被害の程度をランク分けしています（危険度ランク1～7）。危険度の数字が大きいほうが、被害が発生する可能性が高いことを示しています。

30 20 10 7 5 3 0  
以上 ~30 ~20 ~10 ~7 ~5 ~3

**全半壊率**  
**(%)**

地震の揺れと液状化によって全壊もしくは半壊という被害を受ける可能性のある木造建物の割合（メッシュ内にあるすべての建物に対する割合）を示します。

全壊	半壊	一部被害	無被害
住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している 居住のための基本的な機能を失った状態を指します	外壁や柱の傾斜が1/20以上である 居住のための基本的な機能の一部を失った状態を指します	壁面の亀裂がある、外装に若干の剥離がある、などの状態を指します	被害が生じていない状態を指します

地域の危険度マップでの被害は、建物が全壊及び半壊となる比率で表現しています。

このマップは、宮城県第三次地震被害想定調査の成果を再構成し、町内の建築物耐震改修を促進するために作成したものです。マップの基図は、国土地理院発行 25,000分の1地形図を使用しています。

このマップについてのお問い合わせは、大和町役場総務まちづくり課 までお寄せください。

